

中期的な目標

【持続】50年後・100年後も持続可能な水道システムの構築

【安全】環境変化等に適切に対応し安全な水道用水を供給

【強靱】災害等に対して強靱な施設と組織の構築

◎「第14次財政収支計画（令和5～8年度）」の着実な推進

施設の適切な維持・更新

《重点施策》①
施設能力の確保

■主要事業

- ・海水淡水化施設の設備更新
- ・牛頸浄水場の改良・更新

《重点施策》②
維持管理の強化

■主要事業

- ・水質管理機能の強化

施設の適切な維持・更新

- 水道施設台帳を利用した適切かつ効率的な施設更新
- 水安全計画に基づく徹底した水質管理
- 残塩低下事象等対応マニュアルの継続的な検証

災害に強い施設と体制づくり

《重点施策》③
耐震機能の強化

■主要事業

- ・管路の耐震化
(下原系幹線管路の一部供用開始)
- ・福岡導水施設地震対策

体制づくり

- 業務継続計画（BCP）の適宜更新
- 災害時の運転操作研修の実施

地球環境保全の取組み

《重点施策》④
地球温暖化対策の推進

- 「地球温暖化対策実行計画」の推進（省エネ機器の導入等）
- 脱炭素社会の実現に向けたチャレンジ（浸透圧発電設備による発電の開始）

適切な財政運営

《重点施策》⑤
健全経営の維持

- 海水淡水化施設等の設備更新における省エネの推進
- 水源状況に応じてコストが安い原水を優先利用する効率的な水運用

経営方針の再構築

- 経営環境の変化を捉えて水道ビジョン2018を点検・増補
- 次期財政収支計画を1年前倒しで策定に着手

構成団体・水源地域との連携強化

- 水道用水供給運用指針の活用推進
- ブロック会議等を通じた構成団体との連携強化
- 構成団体の共同検査センターとしての役割の遂行と水質管理についての技術支援の実施
- 関係利水者と連携した、事業促進や効率的なダム運用への取組
- 交流・広報における50周年記念事業の継承

人材育成・活性化、コンプライアンス

- 専門研修によるスキルアップやOJTによる技術継承
- 全職員を対象としたコンプライアンス推進研修の実施
- 規程や事務処理の点検、見直しによる業務の効率化
- 企業団の事業運営に適した人材育成・確保に関する方策の検討